

豊田市

ふじおかガイドブック



- 01 藤岡の誇る主要施設
- 02 藤岡の四季のみどころ
- 03 歴史建造物・史跡のみどころ
- 04 藤岡再発見!
- 05 藤岡をもっと住みよく、面白く!
- 06 ふじおかマップ

ふじの回廊(御作町)

八剱神社(西市野々町)

06 ふじおかマップ

藤岡大好き



発行
豊田市社会部藤岡支所
豊田市藤岡飯野町田中245番地
問合せ
豊田市社会部藤岡支所 TEL 0565-76-2101
藤岡観光協会 TEL 0565-76-6108

発行年月 平成26年3月
地域予算提案事業
(藤岡地域会議・藤岡南地域会議)



01 藤岡の誇る 主要施設

足を癒して、明日の癒しを 石畳ふれあい広場^①

石畳ふれあい広場(石畳町)には、天然ラドン温泉が湧き出る足湯と温泉スタンドがあり、毎日多くの人々が訪れます。広場には、健康遊具や足ツボ遊歩道、マレットゴルフ場も備えられており、健康づくりに取り組む人々で賑わいます。

さらに、毎月開催の朝市をはじめ、ウォーキング大会や紅葉まつりなど様々なイベントが随時開催され、人々のふれあいと交流の場として親しまれています。

【施設のご利用案内】
毎週月曜定休(祝日と重なる場合はその翌日)
・足湯:無料 / 午前10時~午後5時(6~9月は午後7時まで)
・温泉スタンド:50円(100リットル) / 午前9時~午後9時
・体育館:200円(1時間) / 午前9時~午後9時
マレットゴルフ:無料 / 午前9時~日没

【問合せ】
藤岡石畳地区地域づくり協議会 TEL0565-76-6577



温泉の概要

泉質 単純弱放射能温泉(アルカリ性低張性温泉)
泉温 34.6℃(外気温11℃時)
適応症 この温泉に含まれる「ラドン」等により、痛風、胆石症、慢性皮膚病、動脈硬化症、高血圧症、神経痛、筋肉痛、関節のこわばり、冷え性、疲労回復、健康増進

石畳朝市

毎月第1土曜日に開催している朝市には、30以上のお店が集まり、採れたて野菜や自慢の一品を求めて多くの人々が訪れています。
開催日:毎月第1土曜日(1月を除く) 時間:午前9時~11時



訪れる人に安らぎと感動を… ふじの回廊^②

ふじの回廊(御作町)は、「ふじ」に親しむことができる散策道で、372mの棚に、九尺藤・紫三尺・八重黒竜・シロバナ藤の4種類のふじが植栽されています。

毎年、4月下旬から5月上旬にかけて満開のふじの花が散策する人々の目を楽しませてくれます。「ふじの里 ふじおか」にふさわしい憩いの場となっています。



ふじまつり

5月上旬には、ふじの回廊を会場に、ふじまつりが開催されます。期間中には、地元特産品の販売や棒の手などの伝統芸能発表も行われます。1年に1度この時期にこそとばかりに咲き乱れるふじを一目見ようと、たくさんの人が訪れ、毎年たいへんなにぎわいを見せます。

01 九尺藤



花房は長く、20mにもなる。花つきはややまばらで、棚仕立てに多く用いられ、長藤の園芸品種。

02 八重黒竜



花房は、20~30cmと短く、雄しべが弁化した八重咲品種。

03 紫三尺



花房は、50~100cmで、花弁に厚みがあり、やや大輪となる。九尺藤と同様、長藤の園芸品種。

04 シロバナ藤



山藤と野田藤の間で、芳香があるといわれ、花房は短く花は密集して開く。

自然を感じ、学び、楽しむ 愛知県緑化センター・昭和の森^③

愛知県緑化センターは、総面積48.2haの広大な公園で、一年を通じて花や自然を楽しめます。

桜の花と同時に、約1万株のユキヤナギが埋め尽くす130mほどのプロムナードは、緑化センターの春の名物となっています。ピンクと白のコントラストが見事です。

そして格調高い日本庭園や山野草の豊富なロックガーデンのほか、オーストラリア庭園、ハーブガーデンなど、テーマにあわせた各種ガーデンが充実しており、四季を通じて楽しめます。



また隣接する昭和の森には、バーベキュー場や、フィールドアスレチック施設のある「体育の森」、大型遊具が設置された「平成子どもの丘」など、自然の中で遊べる施設が豊富に用意されています。野鳥や自然を観察するための観察路も整備され、ゆっくりと散策しながら、自然のありのままの姿を楽しめます。

【問合せ】
愛知県 緑化センター TEL0565-76-2106
昭和の森 交流館 TEL0565-76-1304

銀色に輝く鮎をつかみ取り! 川口やな^④

川口やな(上川口町)は、藤岡の豊かな自然に囲まれて、矢作川に入って鮎をつかみ取りができる人気スポットです。大人から子どもまで楽しむことができます。

つかみ取りを楽しんだ後は、矢作川のせせらぎを聞きながら、こだわりの岩塩を使用した新鮮な鮎の塩焼きやフライ、鮎ごはん等、新鮮で野趣あふれるこだわりの料理をお楽しみいただけます。



【問合せ】
川口やな
TEL0565-76-2383

湖面に映える木々の緑 木瀬ダム^⑤

木瀬ダム(木瀬町)は、三国山を水源として、洪水調整や水道用水の供給などを目的に、平成11年3月に竣工した多目的ダムです。親水公園が整備され、豊かな自然の中のウォーキングや水遊びも楽しめます。

ちなみにダム湖は、白川町・三箇町・木瀬町の頭文字を取って、「しらぎ湖」という名前が付けられています。



02 藤岡の四季のみどころ

さくら

6 飯野川(藤岡支所前)

飯野川兩岸の約40本の桜がみごとに咲き誇り、訪れる人の目を魅了させます。桜の隠れた名所として、近年、花見を楽しむ人が増えています。



3 愛知県緑化センター

1万本のユキヤナギを背景に桜がみごとに咲きます。



7 金剛寺(北一色町)

豊田市の天然記念物に指定された樹齢300年のしだれ桜。3月下旬から4月上旬に美しい花を咲かせます。夜はライトアップも行われ、昼とは違った雰囲気を楽しめます。そんな幻想的な雰囲気のなかで、毎年、夜桜コンサートが開催されます。



花のじゅうたん「キリシマツツジ」

8 つどいの丘

例年4月中旬から5月中旬にかけ、高さ約5m、幅約50mにわたって、約1万株のキリシマツツジが咲きそろいます。赤やピンクを基調としたキリシマツツジの壁は、豊田市の花名所にも選ばれています。



「初夏に楽しむ幻想的な光」ホテル観賞

藤岡では6月、ホテルが見られるスポットがいくつかあります。これらのホテルは藤岡の豊かな自然のシンボルとして、生物が生息できる自然環境を子どもたちに残したい、伝えたいという思いで、地元住民の地道な活動により守られています。

特に木瀬町の大沢不動滝では、毎年6月に地元の住民グループがホテル観賞会を開催しており、真っ暗な里山の中で淡く光るホテルの姿を観賞するため多くの人が訪れます。

場所: 9 大沢不動滝(木瀬町)

10 西中山川(西中山町)

時期: 6月中旬から2週間程度



夏の夜空を彩る花火

7月、ふじおか夏まつりが開催されます。約4,000人の人出で賑わうこの催しでは、市内各地から集まった踊り連によるおいでん踊りやステージイベントが行われます。

まつりのクライマックスは、盛大な打ち上げ花火。約1,000発の色とりどりの花火が夜空を彩り、来場者を魅了します。



紅葉

1 石畳ふれあい広場

人工的に作られた池に温泉を流し込みます。夜、空気が冷え込むと湯煙が立ち、幻想的な雰囲気の中で水面に映し出された紅葉を楽しめます。

3 愛知県緑化センター

日本庭園とその周囲に植えられた紅葉が真っ赤に色づきます。会場では、多くの催事が繰り広げられると共に、屋台が出演され、祭りを盛り上げます。

11 木瀬八柱神社

紅葉に囲まれた農村舞台で、アーティストの生演奏によるコンサートが開催されます。

12 下川口大沢池

樹齢40年になる樹をはじめ、約200本の紅葉が池の畔に植えられ、水面に映る紅葉を二重に楽しむことができます。



毎年11月下旬に愛知県緑化センターをはじめ、下川口大沢池、石畳足湯、木瀬八柱神社の藤岡地区4地域で「ふじおか紅葉まつり」が開催されます。

03 歴史建造物・史跡のみどころ

歴史建造物・史跡のみどころ

13 御内平古墳(深見町)

御内平古墳は、およそ1500年前に造られた古代豪族の墓で、横穴式石室と呼ばれる部屋の中にあります。石室の入口は壊されてしまいましたが、まんじゅう型の封土の全貌は長い年月を経た今でも、古代当時のままの姿を保っています。



15 三十三観音(西市野々町)

瀬戸に通じる道路脇にひっそりと佇む西国巡礼塔は、1771年頃に建立されました。西国巡礼とは近畿二府四県と岐阜県にまたがる三十三箇所の観音信仰の霊場を巡ることですが、その巡礼ができない庶民は、この塔をお参りする事で神仏に救いを求めていたと言われています。



18 鼠小僧次郎吉墓碑(迫町)

時代劇や講談でおなじみの鼠小僧次郎吉は、悪徳商家や大名から盗んだ金銭を貧しい庶民に分け与えていたと言われ、江戸時代の義賊として有名です。昭和初期、この地の住民が埋葬先の江戸の回向院に特別な許しをもらい、日本全国で唯一の分墓を建てることができました。



14 笹窯(藤岡飯野町)

室町時代(15世紀)に築かれたといわれる笹窯は、昭和48年に御作町で発掘され、民俗資料館横に復元されました。はるか昔に天目茶碗や灰釉碗など数々の銘品が生み出されたこの窯は、現在でも地元の愛好家や子どもたちの手により、毎年新たな作品が生み出されています。



16 川口城址(下川口町)

鎌倉末期に建てられたこの川口城は、戦国時代に武田信玄の軍勢の来襲に遭うなど歴史の荒波にさらされてきました。現在は地元住民グループが、登山道の整備や史跡看板を設置するなどして、地域の歴史を後世へ伝えるための活動に取り組んでいます。



19 牛頭観音

昔、農山村では馬の飼育が盛んで、その霊を弔うため「馬頭観音」が多く建てられました。しかし、この絵像には「天明八戊申(1788年)、稔為牛馬安全、十一月吉日、施主市野々村中」と刻まれ、馬頭ではなく牛頭をいたっています。この碑は、その頃すでにこの地で牛が飼育され、その供養を行っていた事を示す貴重な資料です。



旧山内家住宅(藤岡飯野町)

1730年頃に建てられた西三河地方における庶民住居形式の代表的民家です。広間三間取形式前の一室形で、古代のたて穴住居形式の名残を、上屋・下屋構成に残っていて、構造は鳥居形式の基本形を示す架構造となっています。先祖の生活を知る上で参考となる大切な文化財です。愛知県指定有形文化財。



17 城ヶ根山展望台(御作町)

アップダウンが続く道を歩き展望台に辿り着くと、360°の大パノラマで日本の昔ながらの原風景を眺められます。ここは、鎌倉時代に築かれた砦の跡といわれています。ふじの回廊と天徳寺の2つの登山道が整備されており、天徳寺コース上には33の可愛らしい石の観音様が奉られています。



20 磨崖仏・塞の神

藤岡地区で唯一の磨崖仏は、1725年の銘で縦横約3メートル、「薬師瑠璃光如来」と刻まれた石仏です。お薬師さんなどと呼ばれ、衆生の病氣・災厄を救うと言われる仏です。また、古代、特別に変わった形をした石には神霊が宿ると信じられていました。村々に邪悪なものが入るのを拒むために村境の道の峠や入口に奇怪な形をした岩を建て、塞の神として拝んだと言われています。



04 藤岡再発見!

私たちの住む藤岡には、知らないこと、不思議なこと、面白いことがいっぱいあります。
さあ、藤岡博士をめざしてみませんか!

歴史

01 「藤岡」の名の由来を知っていますか?

明治39年、藤河村・高岡村・富貴下村の一部が合併して「藤岡村」が誕生しました。「藤岡」の名は、藤河村の「藤」、高岡村の「岡」に由来すると言われています。藤河村の大字は飯野・石飛・北一色・田・迫・田茂平・深見・西中山、高岡村の大字は木瀬・三箇・大岩・白川・西野々・石畳・北首木・折平・上渡合、富貴下村(一部)の大字は、御作・上川口・下川口でした(藤岡村誌より)。
藤岡村はその後、昭和53年4月に「藤岡町」となり、平成17年4月に市町村合併により「豊田市」となりました。「藤岡」の名は、現在豊田市役所藤岡支所のある「藤岡飯野町」に残されています。

02 自治区名に歴史あり!

「藤宮」

この地には、「農地開拓営団藤岡村地区」として、昭和初期から入植(開拓などのために移り住むこと)が開始されました。「藤宮」の名は、この「農地開拓営団藤岡村地区」に由来します。その後、営団は、昭和23年に藤岡村開拓農業協同組合として変更登記され、開拓が進められました。その後「藤宮区」「藤宮自治区」と変遷し、現在に至ります。

「藤源」

かつてこの地にあった企業「藤井鉱業」の通称が「藤源」。これは、同社の創業者・藤井源三郎氏の名に由来します。その昔、藤岡地区では罫業原料を採掘する鉱山が多くあり、昭和初期に藤井鉱業が飯野地内の採掘権を得て、操業を開始しました。藤井鉱業はその後、藤岡村有数の企業としての地位を確保し、当時は「藤源」に就職できれば一生安泰とも言われていました。

03 郷土の偉人・山本八兵衛 MAP番号21

山本八兵衛は、享保11(1726)年飯野村に生まれたことから、飯野八兵衛と呼ばれました。当時、村では農民は重い年貢に苦しんでいました。八兵衛はこれを救うために何度も挙母藩に訴えましたが、通じませんでした。そこで宝暦2(1752)年、挙母領内の諸村の同志と組んで、江戸の藩邸にいた藩主内藤政苗に生活の苦しさ、年貢の引き下げ、藩の悪政などを訴え、一部の訴えは認められましたが、翌年4月、八兵衛ら6名は挙母城外にて処刑されました。八兵衛28才の年でした。身をもって村を守った八兵衛の名は後世に伝えられ、大正7(1918)年には、秋葉神社(藤岡飯野町)の境内に「飯野八兵衛碑」が建立されました。



名所・旧跡

04 八剣神社の謎 MAP番号22

西野々町にある八剣神社の拝殿には、賽銭箱がありません。さらには、拝殿横の板壁には、穴の開いた柄杓がいくつもぶら下がっています。なぜなのでしょう?
子授けの神様・安産の神様として知られるこの神社では、参詣者が投げたお賽銭を男の子が拾うと男児に、女の子が拾うと女児に恵まれるという言い伝えがあります。また、子どもを授かり無事出産すると、底抜けの水柄杓を奉納してお礼参りをすると言う習わしがあるのです。



賽銭箱のない拝殿



奉納された柄杓

05 現代に残る芸能舞台 MAP番号23

農村舞台は、江戸時代後半から昭和の初めにかけて、農山村の娯楽の場として神社の境内などに建てられた舞台です。藤岡地区内には現在、9つの農村舞台があります。

中でも、深見町の磯崎神社(明治34年建造)の舞台は、「廻り舞台」がある本格的なもの。「廻り舞台」とは、舞台装置の早がわりなどに用いられるもので、舞台下に奈落という空間があり、そこで棍棒をかつぎ人力で回すものです。秋葉神社(藤岡飯野町)の舞台も、かつては廻り舞台であったとされています。(公財)豊田市文化振興財団の調査によると、「廻り舞台」のある農村舞台は、豊田市内でも4か所のみ珍しいものだそうです。



磯崎神社 農村舞台(深見町)



奈落で回す「廻り舞台」

05 藤岡をもっと住みよく、面白く!

～動き出す住民のチカラ～

01 戸越峠クリーン活動

「まちづくりネットワークべんぎんむら」は、戸越峠を美しくする活動を続けています。
かつて瀬戸市とのつながりが強かった藤岡にとって、戸越峠は言わば「藤岡の玄関」。不法投棄等で荒れ果てていた峠を見かねた「べんぎんむら」のメンバーは、日々の草刈りや清掃と合わせて、毎年12月には地元中学生やボランティアを動員して大々的にクリーン活動を行っています。「子どもたちが誇れるふるさとを作りたい」というメンバーの思いは、確実に広がっています。



02 ホタルの見えるまちづくり

「木瀬四季の里山づくり実行委員会」と「ほたるカワニナ同好会」は、ホタルの飛ぶふるさとづくり活動を行っています。

両団体は、きれいな水質でないと生息できないホタルのため、川の浄化や環境整備に住民を挙げて取り組んでいます。活動場所は、大沢不動滝(木瀬町)と西中山川(西中山町)。毎年6月には、丹精こめて育てたホタルが舞います。皆さん、ぜひ観賞にお出かけください。



03 マレットゴルフ場の整備

西中山大池には、趣向を凝らしたコースが人気のマレットゴルフ場があります。これは、地域住民の親睦と健康増進のため「マレットゴルフ同好会」が企画・運営を行っているものです。大砲や富士山をモチーフにした難易度の高いコースに挑戦する人々で、日々にごわっています。また、石畳ふれあい広場にもマレットゴルフ場があり、「藤岡石畳地区地域づくり協議会」により管理運営されています。いずれも、無料で楽しめますよ!
その他、白地釜池公園(深見町)でも、「深見自治区協力会」によるマレットゴルフ場の造成が進められています。

問合せ:西中山大池マレットゴルフ場(76-1557 ※西中山自治区)
石畳ふれあい広場マレットゴルフ場(76-6577)



文化芸能

棒の手

棒の手は、藤岡に長く伝承されてきた民俗芸能です。昭和30年頃に再興され、県の無形民俗文化財に指定されました。室町時代の頃、日本民族特有の武芸を基本に、農民たちが自らを防御するための武術として始まり、棒の手と呼ばれました。乱世の時代が終わると、農民の棒の手は、社寺の祭礼などで天下泰平や豊穡を祈願する神聖な奉納行事となりました。この迫力ある棒の手の実演は、今では藤岡のイベントには欠かせないものとなっています。



《藤岡棒の手保存会》
御作・北一色・藤岡飯野(見当流)
迫(藤牧検藤流)、木瀬(鎌田流)

藤岡歌舞伎

かつて藤岡では、歌舞伎が神社にある農村舞台で演じられ、長い間人々の間に伝えられてきましたが、昭和30年代に一度途絶えてしまいました。その後平成8年に、藤岡商工会によるまちおこし事業の一環で藤岡歌舞伎が復活、それ以来、地元有志による保存活動と定期公演を行っています。

